

# 事業実施報告

開催日	令和7年1月18日（土）、19日（日）		
事業名	テンパーク・アウトドアクラブ～冬編～		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	18日 29家族98名 19日 25家族84名
対象	小学校1～4年生の子どもを含む家族		
関係機関名	岩手県シェアリングネイチャー協会、滝沢里山研究会		

## 状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

### 【事業の内容】

本事業は、親子で一日中思いっきり遊ぶことを通して岩手の大自然を満喫し、冬遊びの楽しさを体感する機会を提供し、冬ならではの良さを感じてもらうことで、事業後も冬の体験活動を行う機会の一助にすることを目的として、同内容で2日間開催した。

事業では7つのブースを展開した。①スノーチューブで大滑走：スノーチューブやそりを使ってテンパークのゲレンデを滑った。②スノーカートで大滑走：スノーモービルに取り付けられたスノーチューブに乗り、雪原を疾走した。③わくわく雪原探検隊：スノーシューをはいて森や雪原を滝沢里山研究会と探検した。④ウィンターネイチャーゲーム：岩手県シェアリングネイチャー協会と冬の自然を観察しながら家族でゲームをした。⑤雪玉ストラックアウト：雪玉を使ってストラックアウトをした。⑥雪上マシュマロスモア：雪上で焼き火台を使い、マシュマロスモアをした。⑦冬の曲り家体験：伝統家屋南部曲り家で薪割り・いろいろ体験をし、薪ストーブやホットドリンクで温まった。

### 【成果】

①冬ならではの良さを感じてもらい、継続的な体験への意欲を高めることができた。

参加者アンケートの「冬ならではの外遊び・自然体験活動の良さを体感できましたか。」という設問に対して98%の回答者から「とても思う」「そう思う」との回答を得ることができた。また、「今後、継続的に家の周辺等で冬の外遊びや自然体験活動をしたしたいと思いますか。」という設問に対して、98%の回答者から「とても思う」「そう思う」との回答を得ることができた。

②2つの協力団体と連携を図り事業を運営することができた。

専門的な知識を持つ講師を招き実施したことで、プログラムが充実したものとなった。また、事前の打ち合わせを重ね、事業の趣旨を理解してもらうことで、目標に向けて連携を強めることができた。

③多様なブースを設置しての実施

ブース数を多く設定することで、参加者が限られた時間内で多くの体験をすることができた。参加者数も多く、冬の短い日照時間の中であったが、参加者からは「各所混雑もなく楽しむことが出来た」、「体験出来るアクティビティが豊富」、「時間いっぱいまで飽きることなく楽しめた」との評価を得た。

### 【課題】

①荒天時プログラムについて

今回は天候に恵まれたが、荒天だった場合、冬遊びの魅力が十分に伝わる内容とは言い難い。荒天時でも冬遊びの魅力が伝わるプログラムを次年度以降考えていく必要がある。

②落選者について

募集家族数に対して3倍以上の応募があり、落選家族数が多くなった。来年度以降は受け入れ家族数を増やすなどして希望した人ができるだけ多く参加できるような内容に工夫する。

## 状況写真



スノーチューブで大滑走の様子



わくわく雪原探検隊の様子



雪玉ストラックアウトの様子



スノーカートで大滑走の様子



ウィンターネイチャーゲームの様子



冬の曲り家体験会の様子

注1) フォントはMS明朝、12Pで統一すること。

注2) 状況写真は4～6枚掲載し、コメントを付すこと。